

◆別紙 4 の出力方法

(画面例はすべて「PCA 社会福祉法人会計シリーズ バージョン DX」を使用しています。)

「決算処理」－「決算書」から作成できます。

- ① [条件指示] の [事業区分/拠点区分/サービス区分/管理グループ] を [指定なし (法人全体)] を選択してください。

条件指示

出力の種類
 画面 (W) 印刷等 (P)

集計期間 (Q) 期首日 (令和 3年 4月度) ~ 令和 4年 3月度 仕訳区分 (J) 4月 1日 4月 2日 ~ 3月30日 3月31日
 月初仕訳 ~ (全仕訳) ~ 決算仕訳

暦の選択 (G) 西暦 和暦 備考欄 (N) 0:出力しない

出力科目内容の設定 (B) 基本指定 科目展開パターン
 出力階層 主科目 中科目 小科目
 見出し科目 出力しない 出力する
 補助科目 出力しない 出力する

内部取引消去 (I) 自動集計しない 自動集計する 設定...
事業区分/拠点区分/サービス区分/管理グループ (M)
 事業区分/サービス 指定なし(法人全体)

出力単位 (U) そのまま出力 評価勘定の出力方法 (貸借対照表) (L) 0:科目ごとに出力

その他の設定 (O)
 税込で出力する 0円の科目も出力する
 貸借対照表の現金預金の内訳を出力する タイトル調整を財産目録に反映する
 前年度実績を期末日まで集計する

起動時にこの画面を表示する

画面出力(F5) キャンセル ヘルプ(F1)

[内部取引消去] 機能を反映させるには、[内部取引消去] を [自動集計する] にしてください。
 ※仕訳に内部取引消去消去のフラグを付けている場合は、[設定] から [内部取引消去対象科目] を選択する必要があります。

条件指示

出力の種類
 画面 (W) 印刷等 (P)

集計期間 (Q) 期首日 (令和 3年 4月度) ~ 令和 4年 3月度 仕訳区分 (J) 4月 1日 4月 2日 ~ 3月30日 3月31日
 月初仕訳 ~ (全仕訳) ~ 決算仕訳

暦の選択 (G) 西暦 和暦 備考欄 (N) 0:出力しない

出力科目内容の設定 (B) 基本指定 科目展開パターン
 出力階層 主科目 中科目 小科目
 見出し科目 出力しない 出力する
 補助科目 出力しない 出力する

内部取引消去 (I) 自動集計しない 自動集計する 設定...
内部取引消去科目の設定

事業区分/拠点区分/サービス区分/管理グループ (M)
 事業区分/サービス 指定なし(法人全体)

出力単位 (U) そのまま出力 評価勘定の出力方法 (貸借対照表) (L) 0:科目ごとに出力

その他の設定 (O)
 税込で出力する 0円の科目も出力する
 貸借対照表の現金預金の内訳を出力する タイトル調整を財産目録に反映する
 前年度実績を期末日まで集計する

起動時にこの画面を表示する

画面出力(F5) キャンセル ヘルプ(F1)

内部取引消去科目の設定

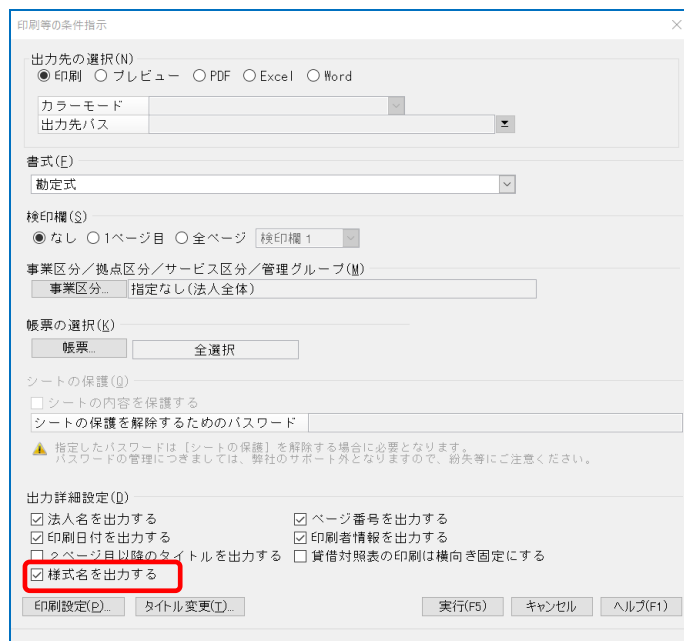
コード	主科目名	内部取引消去科目 (I)	コード	主科目名
111	現金	180	1年事業貸付金	
112	小口現金	181	1年拠点貸付金	
121	当座預金	182	1年サー貸付金	
131	普通預金	185	事業区分貸付金	
139	納税準備預金	187	拠点区分貸付金	
140	貯蓄預金	188	サー区分貸付金	
141	通知預金	245	事業長期貸付金	
142	他流動性預金	247	拠点長期貸付金	
143	定期預金	248	サー長期貸付金	
148	他固定性預金	321	1年事業借入金	
149	有価証券	323	1年拠点借入金	
151	事業未収金	324	1年サー借入金	
155	未収金	337	事業区分借入金	
157	未収金	339	拠点区分借入金	
158	未収補助金	340	サー区分借入金	

設定(F5) キャンセル

② 画面出力し、[財産目録] 右上の様式が [別紙 4] の表示になっていることをご確認ください。



③ 印刷や、Excel 転送の際に、様式名を出力希望な場合は、
[印刷等の条件指示] - [出力詳細設定] の [様式名を出力する] にチェックをいれてください。



【補 足】

同条件で出力した

[資金収支計算書] は第一号一様式、[事業活動増減計算書] は第二号一様式、[貸借対照表] は第三号一様式となります。

